

農林業経営体数

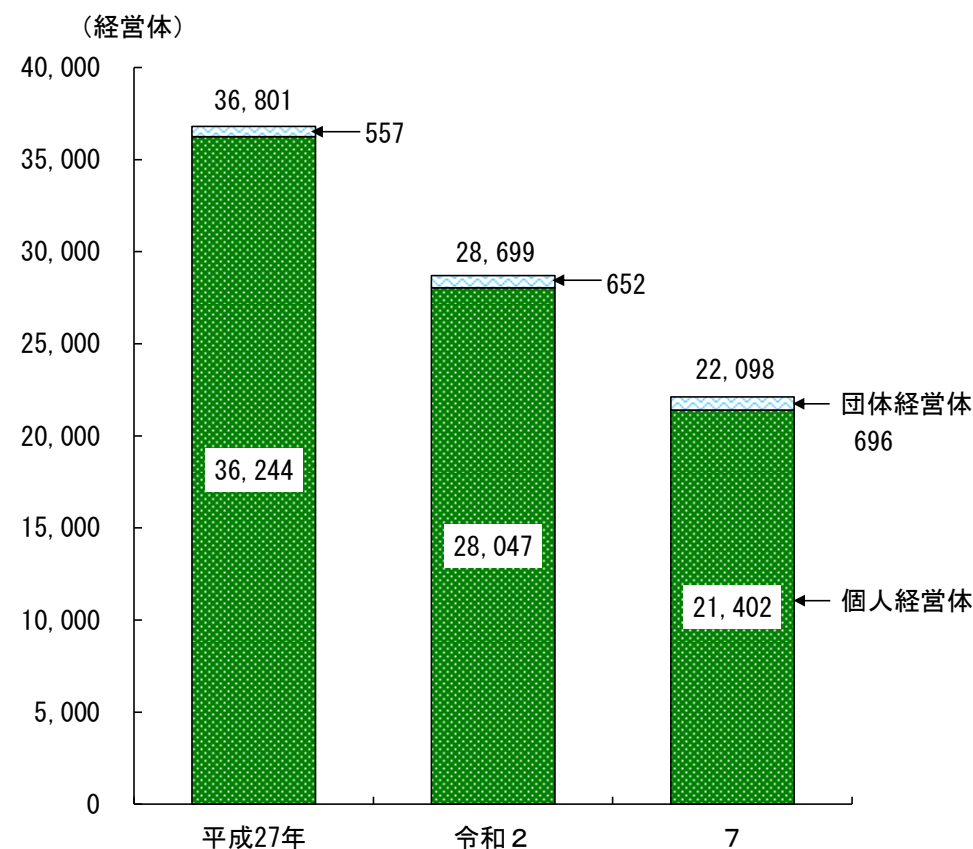
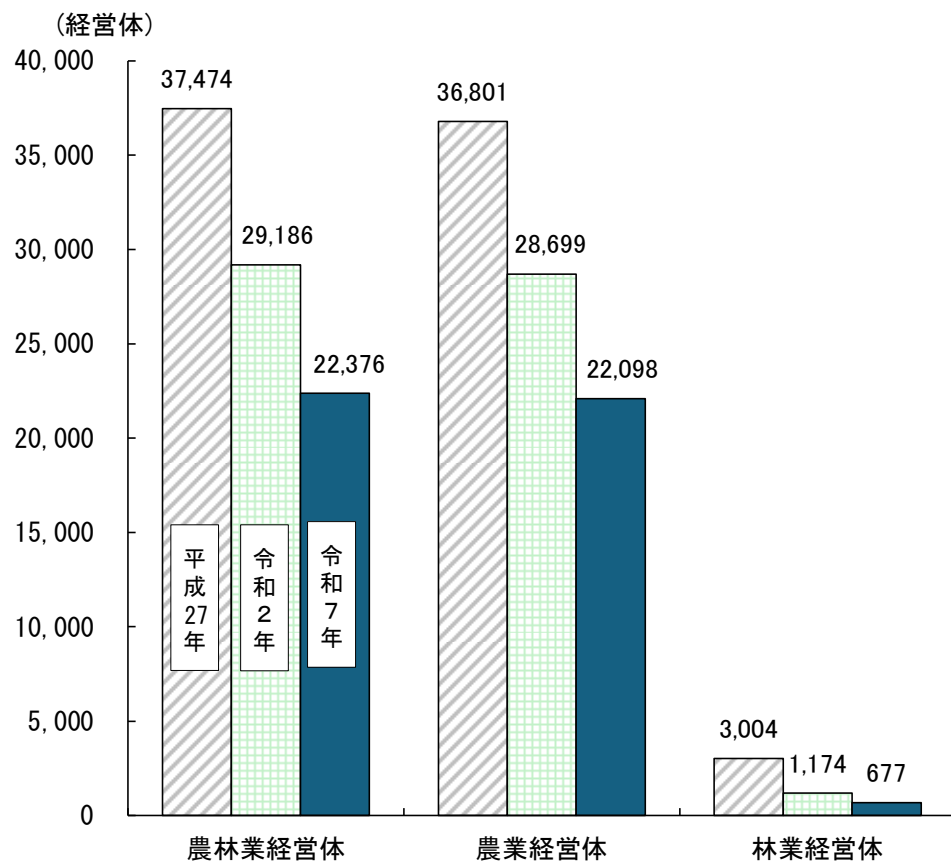
農林業経営体数は2万2,376経営体で、5年前に比べ6,810経営体（23%）減少した。

このうち、農業経営体数は2万2,098経営体、林業経営体数は677経営体となった。

農業経営体数

農業経営体数は2万2,098経営体で、5年前に比べ6,601経営体（23%）減少した。

このうち、個人経営体数は2万1,402経営体で、5年前に比べ6,645経営体（24%）減少した。



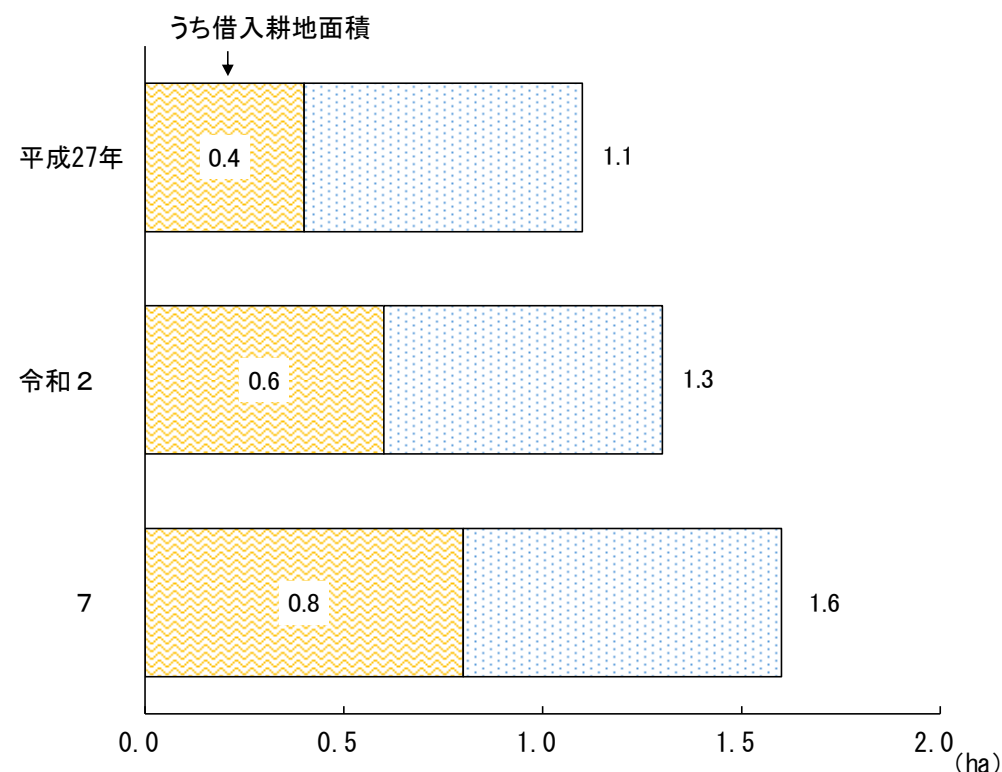
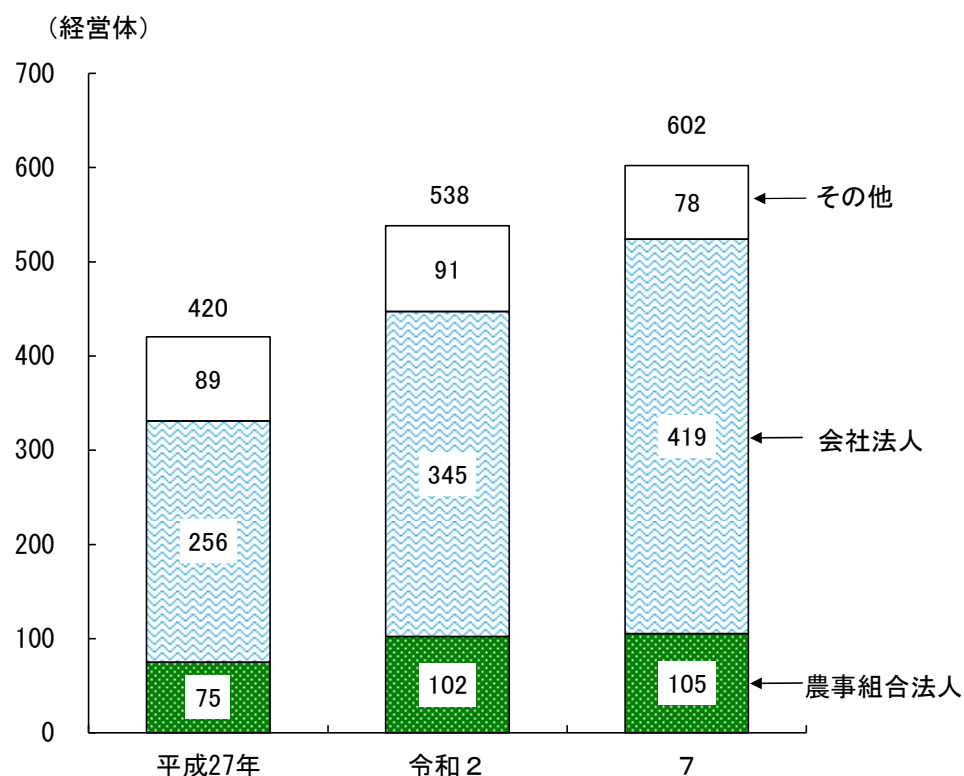
法人化している農業経営体数

団体経営体のうち法人経営体数は602経営体で、5年前に比べ64経営体（12%）増加した。

このうち、会社法人は419経営体で、5年前に比べ74経営体（21%）増加した。

1農業経営体当たりの経営耕地面積

経営耕地のある農業経営体の1経営体当たりの経営耕地面積は1.6haで、5年前に比べ0.3ha（23%）増加した。

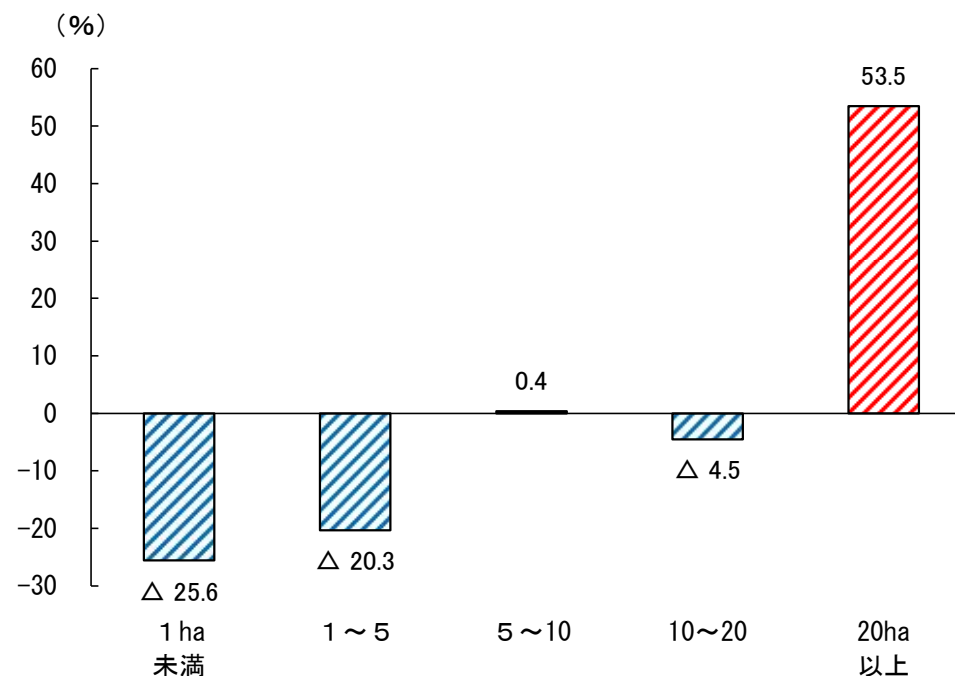
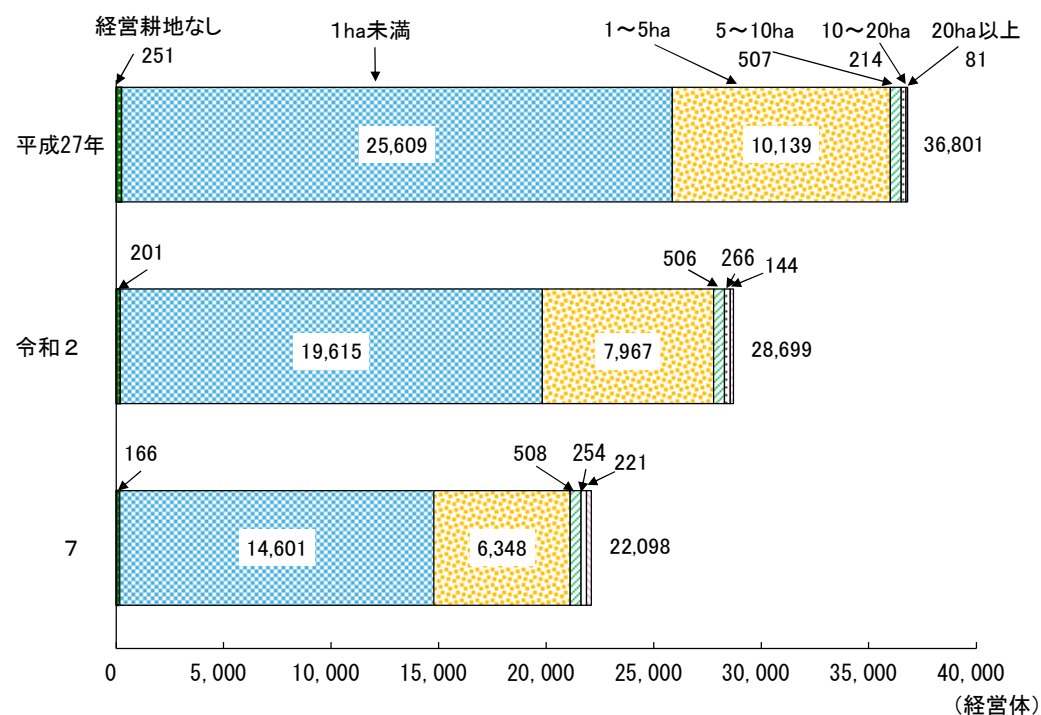


経営耕地面積規模別の農業経営体数

経営耕地面積規模別に農業経営体数をみると、1 ha未満層は1万4,601経営体で、5年前に比べ5,014経営体（26%）減少した。

経営耕地面積規模別の農業経営体数の増減率

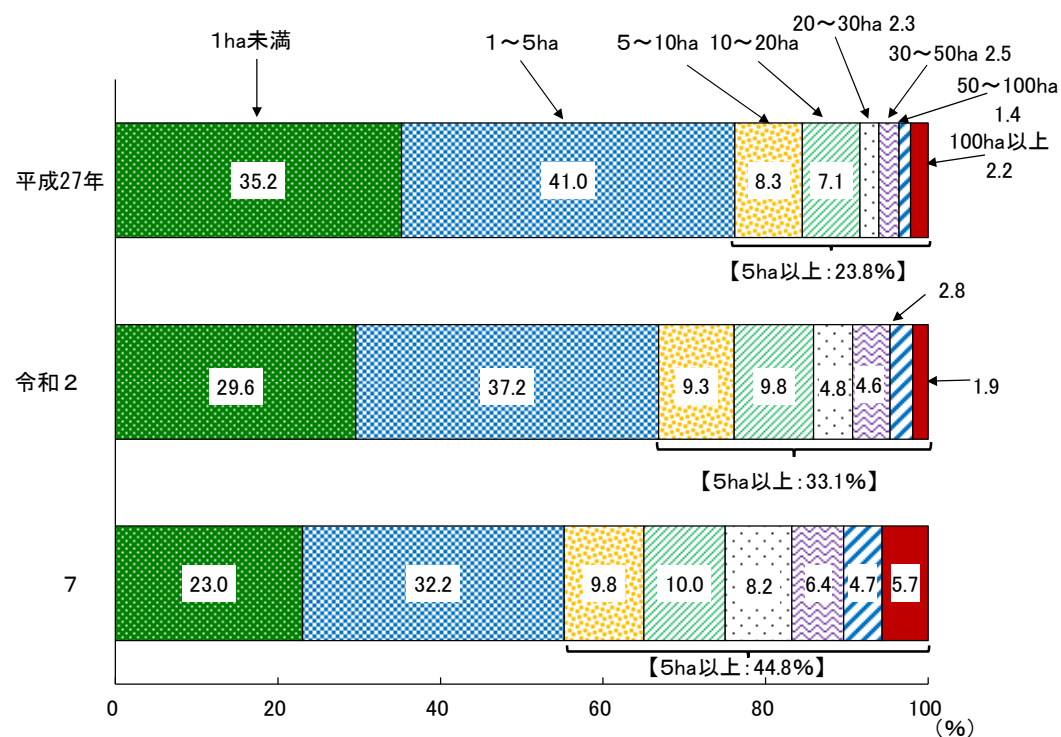
経営耕地面積規模別に農業経営体数の増減率をみると、5年前に比べ1 ha未満層と10～20ha層は減少したが、5～10ha層と20ha以上層は増加した。特に、20ha以上層の増加率が高い。



注：「1 ha未満」には経営耕地面積なしを含まない。

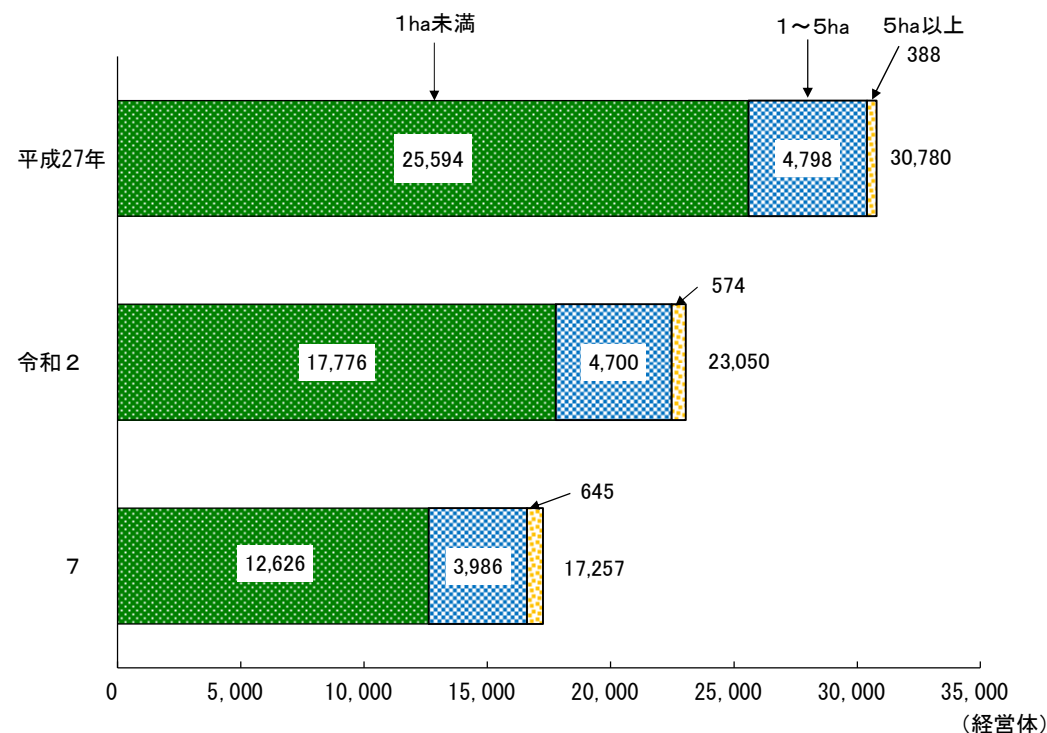
経営耕地面積規模別の経営耕地面積割合

農業経営体の経営耕地面積を規模別に構成割合をみると、5ha以上の経営耕地面積が全体の44.8%を占め、5年前に比べ11.7ポイント上昇した。



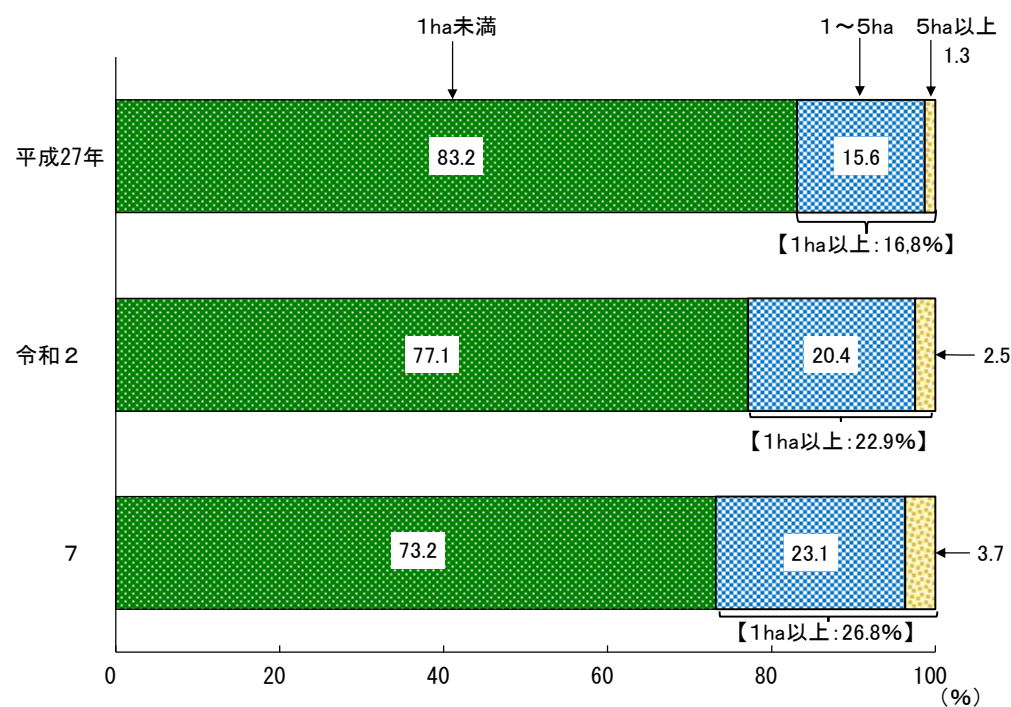
水稻作付面積規模別の農業経営体数

販売目的で水稻を作付けした農業経営体数を水稻作付面積規模別にみると、1ha未満層は1万2,626経営体で、5年前に比べ5,150経営体（29%）減少した。



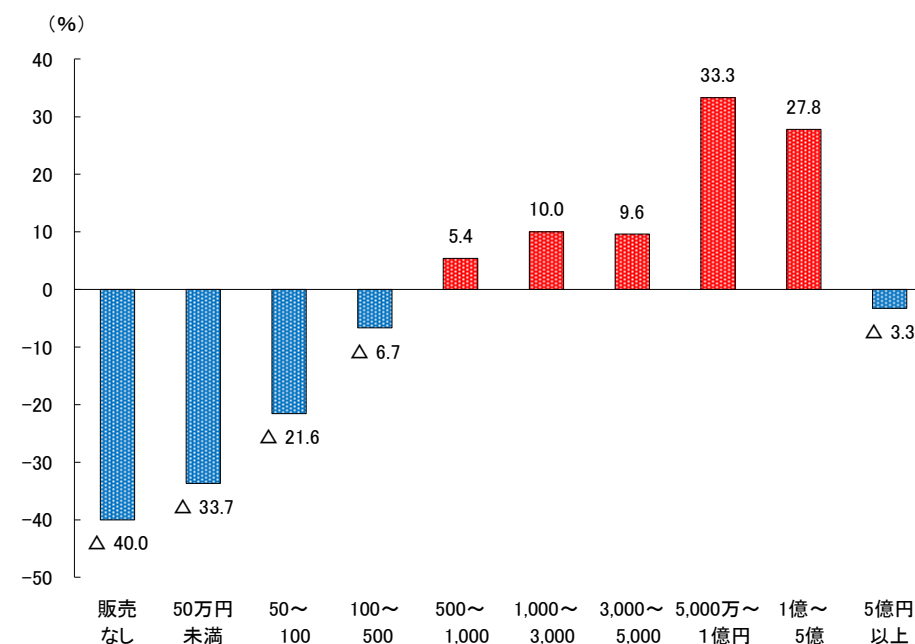
水稲作付面積規模別の農業経営体数割合

販売目的で水稲を作付けした農業経営体数を水稲作付面積規模別に構成割合をみると、1ha以上の農業経営体が全体の26.8%を占め、5年前に比べ3.9ポイント上昇した。



農産物販売金額規模別の農業経営体数の増減率

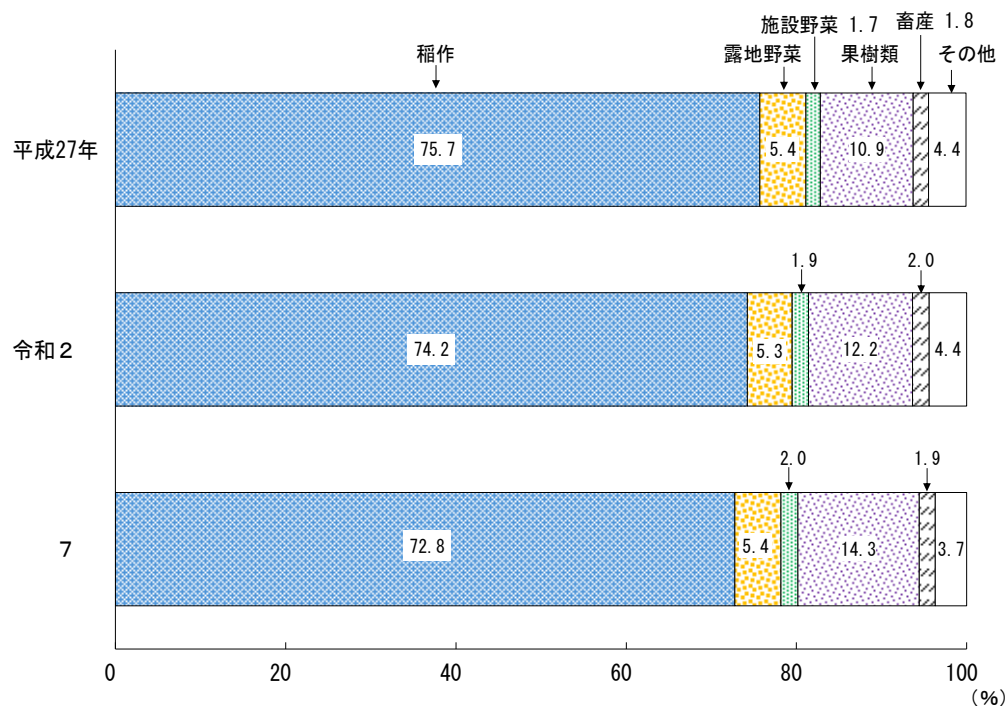
農産物販売金額規模別に農業経営体数の増減率をみると、5年前に比べ500万円未満の各層と5億円以上層は減少し、500万～5億円の各層は増加した。



販売金額1位の部門別農業経営体数割合

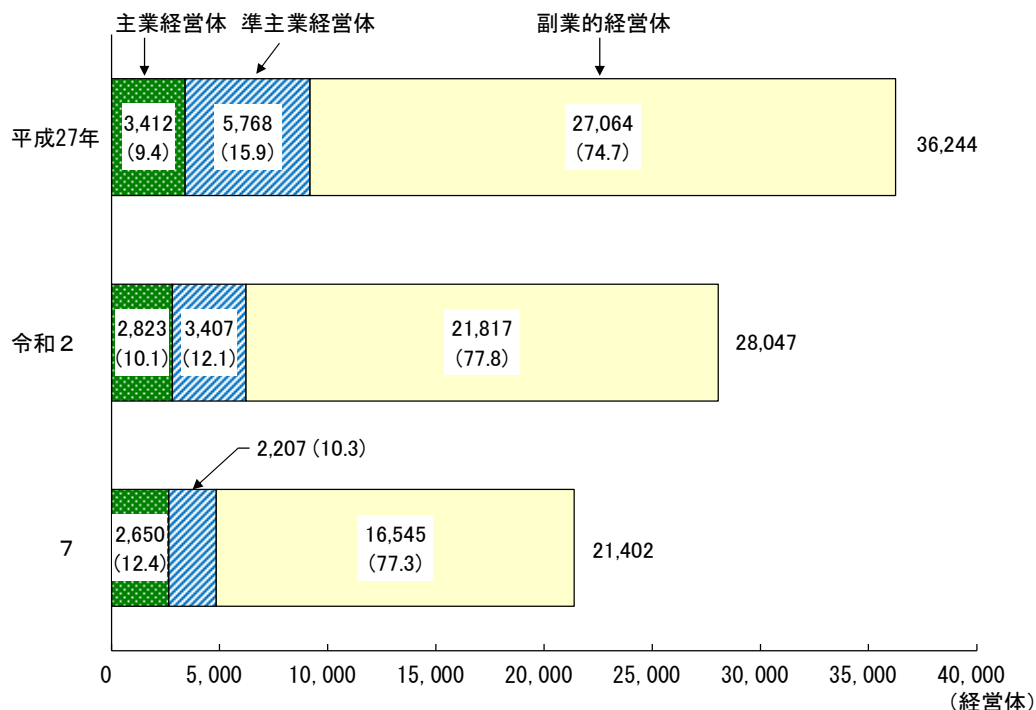
農産物販売金額1位の部門別に農業経営体数の構成割合をみると、稲作は72.8%で、5年前に比べ1.4ポイント低下した。

一方、果樹類は2.1ポイント上昇した。



主副業別農業経営体数(個人経営体)

農業経営体のうち個人経営体を主副業別にみると、主業経営体数は2,650経営体で、5年前に比べ173経営体（6%）減少、準主業経営体数は2,207経営体で1,200経営体（35%）減少、副業的経営体数は1万6,545経営体で5,072経営体（23%）減少した。



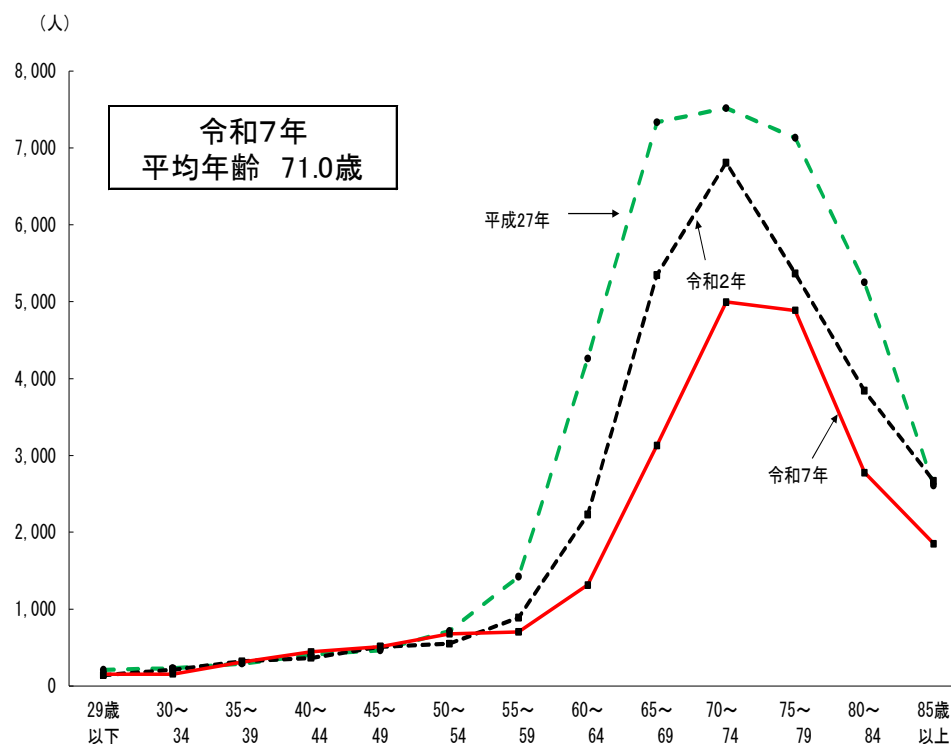
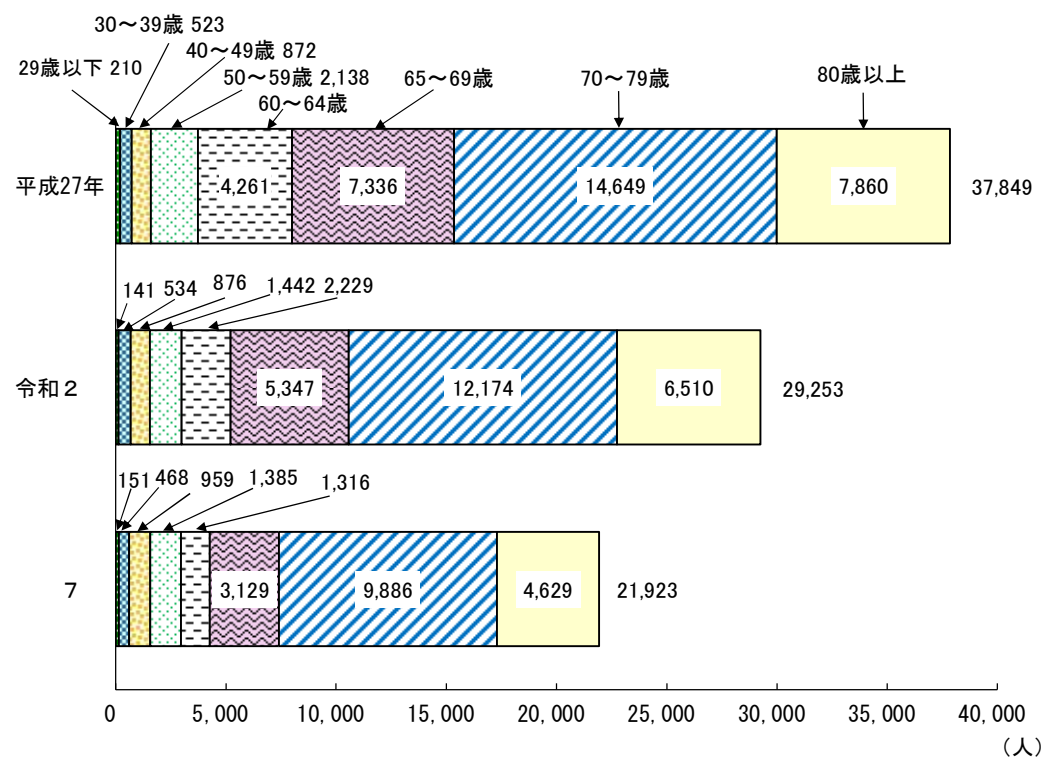
注：（ ）内は個人経営体数に占める割合（%）である。

基幹的農業従事者数(個人経営体)

農業経営体のうち個人経営体の基幹的農業従事者（自営農業を主な仕事としている世帯員）は2万1,923人で、5年前に比べ7,330人（25%）減少した。

年齢別基幹的農業従事者数の推移

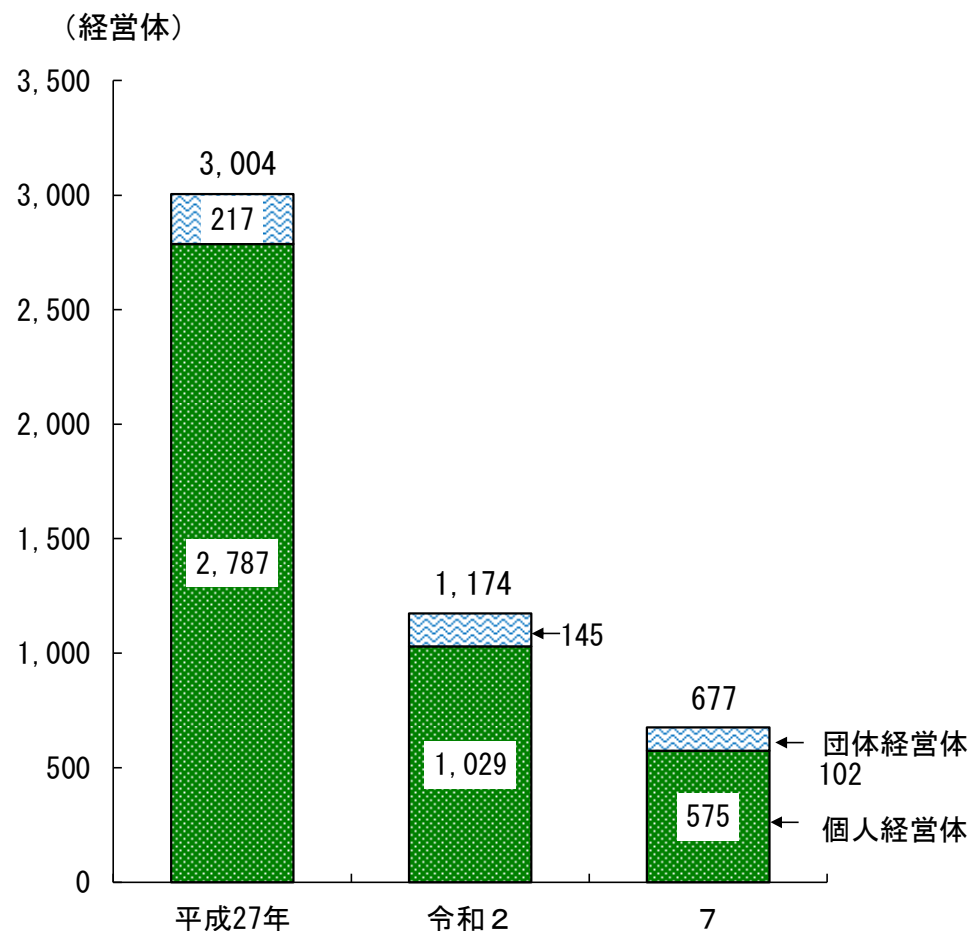
年齢階層別に基幹的農業従事者数の推移をみると、5年前に比べ29歳以下層と40～44歳から50～54歳までの各層は増加したが、それ以外の各層は減少した。
また、基幹的農業従事者の平均年齢は、71.0歳となった。



林業経営体数

林業経営体数は677経営体で、5年前に比べ497経営体（42%）減少した。

このうち、個人経営体数は575経営体で、5年前に比べ454経営体（44%）減少した。



資料：農林水産省「農林業センサス」

保有山林面積規模別の林業経営体数割合

保有山林面積規模別に林業経営体数の構成割合をみると、保有山林面積が10ha以上の林業経営体が全体の51.4%を占め、5年前に比べ3.4ポイント上昇した。

